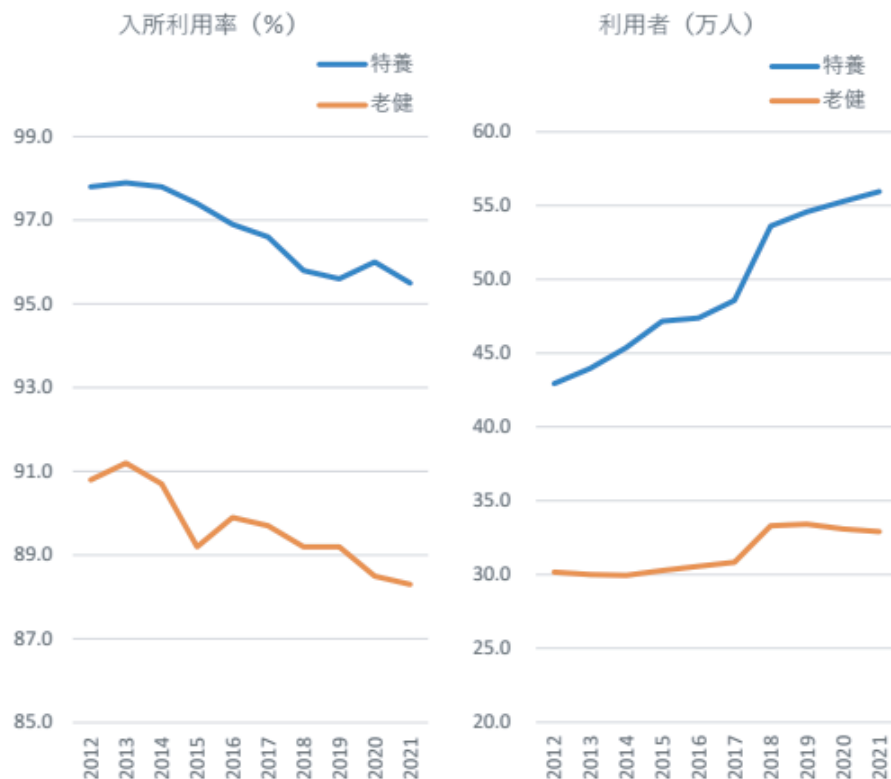


- 介護老人保健施設は、居宅復帰を前提として、急性期における機能回復のためのリハビリ等のサービスを提供する施設類型。こうした趣旨から、短期的なリハビリを想定した人員配置・報酬体系となっている。
- 足元で利用率が減少していることに加え、長期間の滞在者（特養等への入所待ち等）も相当程度いる状況。
- 利用者の実態や地域のニーズに即して、特養への移行や特養に近い形の人員配置・報酬体系を検討すべき。

◆入所利用率・利用者数の推移



(出所) 厚生労働省「令和3年介護サービス施設・事業所調査」

◆入所利用率・平均在所日数の分布、赤字施設割合の推移

【入所利用率の分布】

- 入所利用率90%を下回る施設が全体の4割超。
- 一方で、入所利用率90～95%の施設が最も多い。

【平均在所日数の分布】

- 1割超の施設で平均在所日数が600日以上。
- 一方で、平均在所日数が200～350日の施設が最も多い。



(出所) (独) 福祉医療機構「介護老人保健施設の経営状況について(令和3年度)」等を基に作成